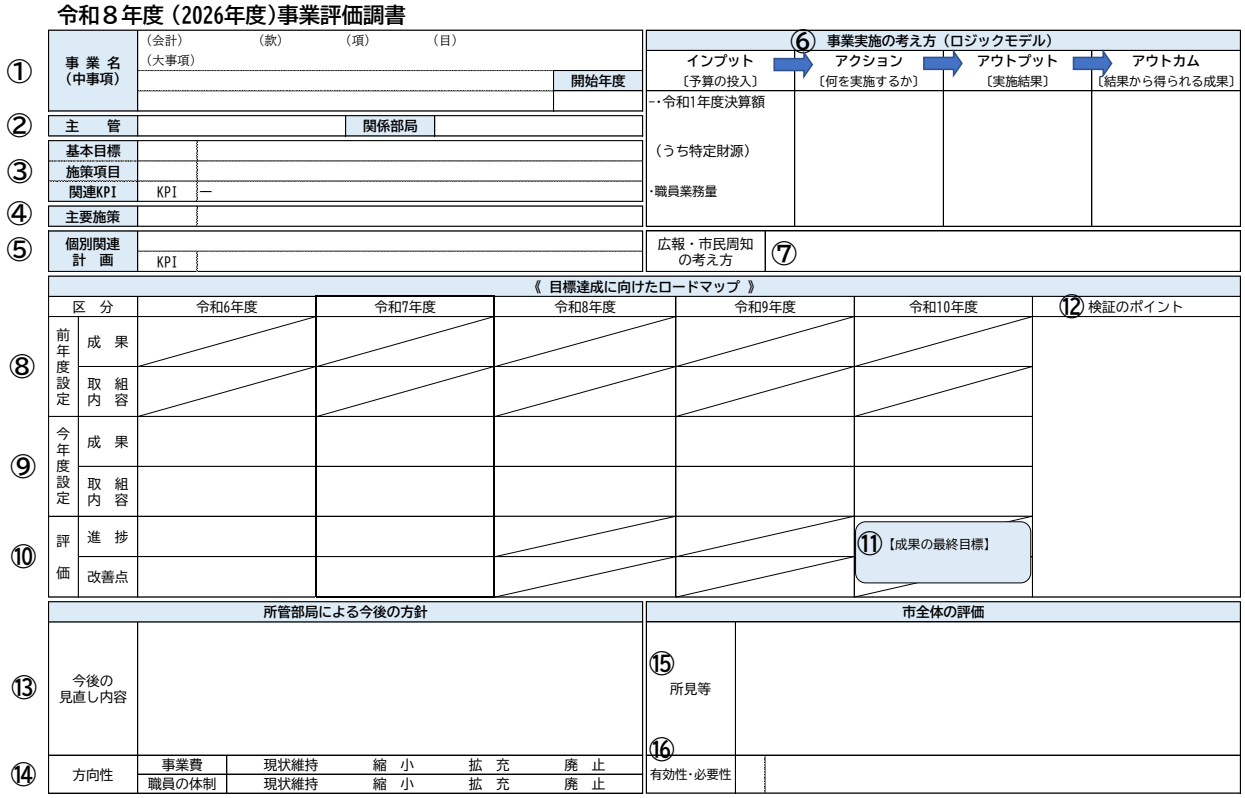
令和８年度(2026 年度)　事業評価調書の見方

【事業評価調書】



①　事業名（中事項），開始年度

・評価の対象となる令和７年度の予算科目，事業名，事業の開始年度を記載しています。

②　主管・関係部局

・事業の主管部局，関係する部局を記載しています。

③　基本目標・施策項目・関連ＫＰＩ

・「第３期函館市活性化総合戦略（2025-2029)」に該当する「基本目標」，「施策項目」，「関連ＫＰＩ」を記載しています。

④　主要施策

・函館市の主要施策の中で該当する項目を記載しています。

⑤　個別関連計画

・関連する個別計画名とＫＰＩを記載しています。

⑥　事業実施の考え方（ロジックモデル）

・インプット〔予算等の投入〕

▶事業を実施するために必要な資金などの資源です。事業の実施に要した令和７年度の決算額と，その事業に対する国や道からの支出金などの特定財源および事業に携わる職員数の概数を記載しています。

・アクション〔何を実施するか〕

▶事業を実施する際に行った具体的な取り組みです。令和７年度に実施した事業の内容を記載しています。

・アウトプット〔実施結果〕

▸事業の実施による直接的な結果です。令和７年度に実施した事業の活動実績を記載しています。

・アウトカム〔結果から得られる成果〕

▸事業の実施によって得られる成果です。事業の実施により，どのような効果がもたらされたのかを記載しています。

⑦　広報・市民周知の考え方

・事業の周知方法を記載しています。

⑧　前年度設定欄

・前年度に設定した成果や取組内容を記載しています。（今回が評価初年度の場合は記載不要）

⑨　今年度設定

・成果　　：成果の最終目標達成に向けて設定したアウトプット･アウトカムを記載しています。

・取組内容：成果の最終目標達成に向けた各年度の取組内容を記載しています。

⑩　評価

・進捗　　：成果の最終目標達成に向けた現在の進捗状況を記載しています。

・改善点　：今後の改善点を記載しています。

⑪　成果の最終目標

・事業が目指す成果の最終目標を記載しています。

⑫　検証のポイント

・進捗についての現状分析や要因分析などを記載しています。

⑬　今後の見直し内容

・事業を所管する部局が，今後の見直し内容について記載しています。

⑭　方向性

・事業を所管する部局が，事業費，職員の体制について，今後の方向性（現状維持，縮小，拡充，廃止）を記載しています。

⑮　所見等

・成果指標に照らして検証した事業の有効性や必要性，期待される効果について，評価にあたっての所見や，意見・指摘を記載しています。

⑯　有効性・必要性

・次の５つの区分による評価を記載しています。

（評価区分）
- ・評価１　有効性・必要性が高い
- ・評価２　有効性・必要性がやや高い
- ・評価３　有効性・必要性がやや低い
- ・評価４　有効性・必要性が低い（廃止予定事業含む）
- ・評価５　効果の測定ができていないため，有効性や必要性の判断ができない

※　調書作成基準日について

評価対象が令和７年度のため，活動実績や効果などの実績値は原則として令和８年３月３１日時点での数値を記載しています。